



平成 23 年 10 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 9 月 7 日

上場会社名 株式会社 神戸物産 上場取引所 大
 コード番号 3038 URL <http://www.kobebussan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 沼田 昭二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼 STB 部門長 (氏名) 矢合 康浩 (TEL) 079-496-6610
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 9 月 14 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 10 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 10 月期第 3 四半期	112,970	9.6	3,075	45.4	3,062	40.9	1,579	58.3
22 年 10 月期第 3 四半期	103,105	9.8	2,114	560.2	2,173	917.0	997	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 10 月期第 3 四半期	201.21	—
22 年 10 月期第 3 四半期	124.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 10 月期第 3 四半期	47,856	13,751	28.7	1,756.03
22 年 10 月期	41,241	12,567	30.5	1,578.36

(参考) 自己資本 23 年 10 月期第 3 四半期 13,751 百万円 22 年 10 月期 12,567 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 10 月期	—	0.00	—	40.00	40.00
23 年 10 月期	—	0.00	—	—	—
23 年 10 月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 10 月期の連結業績予想 (平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 10 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	145,000	4.9	3,020	5.9	2,920	2.7	1,600	68.7	202.98

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無
新規 ―社（社名）、除外 ―社（社名）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更：有
② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年10月期3Q	8,800,000株	22年10月期	8,800,000株
23年10月期3Q	969,166株	22年10月期	837,300株
23年10月期3Q	7,851,761株	22年10月期3Q	8,030,900株

（注意事項）

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報及び 3 ページ（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災とその後の原発事故の影響等があり、依然として厳しい状況が続いております。食品業界におきましても、自粛ムードによる個人消費意欲の低迷、放射能汚染による風評被害や穀物をはじめとする世界的な原材料価格の高騰など依然として厳しい状況が続いており、先行きが不透明な状態となっております。

このような状況の下、当社グループでは安全・安心な商品をお客様へ安定供給を行うため、商品の確保を行い供給責任を果たせるよう努めてまいりました。また食品メーカーとして被災地へ出来る限りの支援を行うため、独自に被災地での炊き出しや、「業務スーパー本部」の売上高の0.2%（年額約3億円前後）の義援金等の支援活動を行っております。

事業活動に関しましては、商品の安定供給を行うため、中国からの輸入だけでなく、中国以外の諸外国からの輸入を増加させるため商品開発に努めてまいりました。また、関連工場では、更なる製販一体システムの強化をするため、各工場への設備投資、新商品の開発に取り組んでまいりました。

また、「第六次産業『真』の製販一体」という、グループとしての目標を達成するために、(株)神戸物産エコグリーン北海道では、事業用地の取得を進め、当第3四半期末現在の総取得面積は1,023.7ヘクタールまで拡大しました。また、北海道の牧場で肥育した牛を加工するための食肉工場の稼働が7月から開始しており、『真』の製販一体を目指して体制の整備を進めております。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,129億70百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は30億75百万円（同45.4%増）、経常利益は30億62百万円（同40.9%増）、四半期純利益は15億79百万円（同58.3%増）となりました。

事業の種類別セグメント売上高の概況は次の通りです。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、新規出店を促進するため、新規出店時の費用の割戻しを継続して行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間における出店状況は、新規出店が32店舗、退店が4店舗、純増28店舗の結果、総店舗数は571店舗となりました。

事業活動としまして、各関連工場で製造されたオリジナル商品や独自のルートで輸入をおこなっている商品を知っていただくために割戻し等の施策を行っております。また販売促進活動としまして、当社にて独自に輸入を行っている世界各国の食品を一覧にした「世界の輸入カタログ」、自社のオリジナル商品の活用方法等を案内した「ミラクルレシピ」などの販売促進品を作成するなど、お客様に業務スーパーの独自性をアピールし、各店舗の販売力を向上するための施策を展開してまいりました。

以上の結果、業務スーパー事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,127億71百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

(神戸クック事業)

神戸クック事業につきましては、外食・中食の形態で、食材パーツをグループ工場で生産し、最も安定した状態で店舗へ供給する「パーツアッセンブル方式」を採用したF C店舗を展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、新規出店、「パーツアッセンブル方式」を活かしたメニュー開発、新業態の開発に積極的に取り組んでまいりました。

業態としましては、世界各国の料理をビュッフェスタイルで楽しんでもいただく外食店舗「神戸クックワールドビュッフェ」を展開、出来たての惣菜やそれに付随する食品を販売しております中食店舗「Green's K」、他社とのジョイントベンチャーにより展開しております中食店舗「神戸ほっとデリ」がございます。

各業態別の出店状況につきましては、「神戸クックワールドビュッフェ」は新規出店が1店舗あり、総店舗数は12店舗、「Green's K」の新規出店は8店舗、退店が1店舗、純増7店舗の結果、総店舗数は14店舗となりました。その内訳は、単独店形態が2店舗、スーパーイン形態が12店舗であります。「神戸ほっとデリ」につきましては純増8店舗の結果、総店舗数は38店舗となりました。

以上の結果、神戸クック事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は9億4百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期末における総資産は478億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億15百万円増加しました。また、純資産は137億51百万円となり、11億83百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、長期借入等による現金及び預金の増加28億9百万円、有形固定資産の取得による増加19億19百万円などです。負債は、前連結会計年度末に比べ54億31百万円増加しておりますが、その主なものは、長期借入金の実行による長期借入金の増加51億57百万円などです。純資産の増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億50百万円の収入（前年同期は19億86百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、26億85百万円の支出（前年同期は11億13百万円の支出）となりました。これは、子会社工場の製造設備増強に伴う有形固定資産の取得による支出が主なものとなっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、45億93百万円の収入（前年同期は10億74百万円の支出）となりました。これは主に長期借入の実行によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、前連結会計年度末に比較し、26億38百万円増加し、232億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当四半期以降につきましても先行き不透明な状況が続くものと思われまします。食品業界におきましても原材料価格の高騰をはじめ厳しい状況は継続するものと予想されます。このような厳しい環境下ではありますが、当社独自の「製販一体」の仕組みを活かした販売戦略により、当第3四半期における業績は好調に推移しております。当社を取り巻く外部環境や変化に注視しつつ、修正の必要性が生じた場合は、適宜お知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,906,134	21,096,746
売掛金	7,425,906	7,145,973
商品及び製品	3,837,627	2,949,489
仕掛品	218,773	12,286
原材料及び貯蔵品	418,562	296,503
その他	826,902	486,925
貸倒引当金	△4,743	△70,864
流動資産合計	36,629,163	31,917,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,221,937	2,946,360
土地	4,019,449	3,256,190
その他（純額）	2,229,178	1,348,785
有形固定資産合計	9,470,566	7,551,336
無形固定資産		
のれん	—	15,381
その他	292,399	316,477
無形固定資産合計	292,399	331,858
投資その他の資産		
その他	1,467,163	1,444,983
貸倒引当金	△2,521	△3,492
投資その他の資産合計	1,464,642	1,441,491
固定資産合計	11,227,608	9,324,686
資産合計	47,856,771	41,241,748

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,302,188	10,706,039
短期借入金	456,741	458,340
未払法人税等	614,459	1,163,001
賞与引当金	42,974	70,929
その他	1,060,850	984,155
流動負債合計	13,477,214	13,382,466
固定負債		
長期借入金	16,787,862	11,630,418
退職給付引当金	73,150	63,450
預り保証金	3,681,900	3,543,900
その他	85,474	53,532
固定負債合計	20,628,386	15,291,301
負債合計	34,105,601	28,673,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,000	64,000
資本剰余金	8,196,144	8,196,144
利益剰余金	7,209,360	5,720,951
自己株式	△1,083,184	△842,690
株主資本合計	14,386,319	13,138,405
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△635,149	△570,425
評価・換算差額等合計	△635,149	△570,425
純資産合計	13,751,170	12,567,979
負債純資産合計	47,856,771	41,241,748

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)
売上高	103,105,117	112,970,046
売上原価	97,130,242	105,761,599
売上総利益	5,974,874	7,208,447
販売費及び一般管理費	3,860,339	4,133,198
営業利益	2,114,535	3,075,249
営業外収益		
受取利息	21,859	43,287
受取配当金	7	146
受取賃貸料	78,014	77,031
補助金収入	62,403	49,957
雑収入	21,599	39,285
その他	31,784	47,963
営業外収益合計	215,668	257,672
営業外費用		
支払利息	30,762	129,903
賃貸収入原価	76,673	67,609
持分法による投資損失	—	288
為替差損	—	12,683
その他	48,926	59,823
営業外費用合計	156,362	270,308
経常利益	2,173,841	3,062,613
特別利益		
固定資産売却益	3,240	2,635
貸倒引当金戻入額	9,394	72,755
為替換算調整勘定取崩額	—	20,698
その他	858	5
特別利益合計	13,493	96,095
特別損失		
固定資産除却損	12,635	30,444
固定資産売却損	2,686	30,180
貸倒損失	1,098	—
減損損失	435,125	211,279
特別損失合計	451,545	271,904
税金等調整前四半期純利益	1,735,788	2,886,803
法人税、住民税及び事業税	992,264	1,269,546
法人税等調整額	△254,378	37,395
法人税等合計	737,885	1,306,942
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,579,861
四半期純利益	997,903	1,579,861

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
売上高	35,171,278	37,705,115
売上原価	33,064,506	35,341,124
売上総利益	2,106,771	2,363,991
販売費及び一般管理費	1,298,868	1,308,264
営業利益	807,903	1,055,726
営業外収益		
受取利息	1,996	6,230
受取配当金	7	7
受取賃貸料	22,062	25,117
燃料販売収入	—	17,065
補助金収入	20,324	1,570
持分法による投資利益	—	1,336
雑収入	11,970	8,551
その他	11,909	2,543
営業外収益合計	68,270	62,422
営業外費用		
支払利息	12,101	49,029
為替差損	13,581	102,292
賃貸収入原価	31,570	21,820
その他	17,310	21,317
営業外費用合計	74,564	194,460
経常利益	801,609	923,688
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,682	1,877
固定資産売却益	—	201
特別利益合計	8,682	2,079
特別損失		
固定資産除却損	7,627	27,338
固定資産売却損	964	26,397
貸倒損失	38	—
減損損失	6,229	211,279
特別損失合計	14,860	265,015
税金等調整前四半期純利益	795,431	660,752
法人税、住民税及び事業税	358,570	414,570
法人税等調整額	△24,794	△67,665
法人税等合計	333,775	346,904
少数株主損益調整前四半期純利益	—	313,847
四半期純利益	461,656	313,847

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,735,788	2,886,803
減価償却費	598,018	655,951
減損損失	435,125	211,279
のれん償却額	32,571	21,214
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,488	△67,091
受取利息及び受取配当金	△21,866	△43,433
支払利息	30,762	129,903
為替差損益(△は益)	6,213	△11,873
有形固定資産売却損益(△は益)	△554	26,426
為替換算調整勘定取崩額	—	△20,698
持分法による投資損益(△は益)	—	288
売上債権の増減額(△は増加)	△458,539	△279,714
たな卸資産の増減額(△は増加)	△829,554	△1,215,920
仕入債務の増減額(△は減少)	809,254	595,804
預り保証金の増減額(△は減少)	128,950	142,500
前渡金の増減額(△は増加)	—	△414,592
その他	△50,054	28,269
小計	2,405,625	2,645,116
利息及び配当金の受取額	21,866	43,433
利息の支払額	△26,884	△119,460
法人税等の支払額	△413,731	△1,818,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,986,876	750,978
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△739,103	△2,547,619
有形固定資産の売却による収入	23,376	6,743
投資不動産の売却による収入	—	69,000
投資有価証券の取得による支出	△160,400	△125,745
貸付けによる支出	△100,000	△2,552
貸付金の回収による収入	20,611	64,391
定期預金の預入による支出	△266,800	△1,083,150
定期預金の払戻による収入	226,780	996,000
事業譲受による支出	△54,496	—
その他	△63,502	△62,978
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,113,533	△2,685,909
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	1,530,000
短期借入金の返済による支出	△2,000,000	△1,530,000
長期借入れによる収入	700,000	5,500,000
長期借入金の返済による支出	△489,813	△344,155
自己株式の取得による支出	—	△240,494
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,345	△3,609
配当金の支払額	△281,081	△318,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,074,240	4,593,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,687	△18,418

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△211,585	2,639,883
現金及び現金同等物の期首残高	11,965,264	20,606,480
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	△1,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,753,679	23,245,224

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。